

社会

1 出題のねらい

「地理的分野」、「歴史的分野」、「公民的分野」から均等に出題し、我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関する理解と、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力をみることをねらいとした。

- (1) 「地理的分野」については、地理的事象を地図や資料との関係において出題し、世界と日本の地域構成、世界や日本の様々な地域に関する自然環境や産業などからみた地域的特色などについて問うものとした。
- (2) 「歴史的分野」については、歴史的事象を年表や資料との関係において出題し、我が国の古代から近現代までの各時代の特色と移り変わり、我が国と世界の歴史上の関連などについて問うものとした。
- (3) 「公民的分野」については、現代の社会的事象を資料との関係において出題し、現代社会の特色、政治のしくみ、経済のしくみ、国際社会の諸課題などについて問うものとした。

2 結果の概要

平均点は23.1点で、昨年度より0.9点上がった。基本的事項については一定の定着がうかがえ、単一の資料を読み取る力は身に付いているものの、全分野を通して、社会的事象の関連や本質を捉えることが十分でなく、資料から読み取った情報を、既習事項と関連付けて思考・判断・表現する力に課題がみられる。

- (1) 平均点(50点満点)の推移

年 度	R 8	R 7	R 6	R 5	R 4
平 均 点	23.1	22.2	19.0	25.1	23.4

- (2) 正答率の推移

年 度	R 8	R 7	R 6	R 5	R 4
地理的分野	54.8	48.9	36.8	65.7	54.3
歴史的分野	47.7	42.8	37.1	31.8	49.7
公民的分野	38.5	53.5	42.0	55.2	47.4

3 結果分析に基づく今後の指導のポイント（【 】は該当問題番号）

- ☞① 社会的事象や歴史的な事柄を正確に理解させること。【23, 32(1)など】

23では、「加賀の一方向一揆」や「自治」についての正確な理解が十分でないことから、「自治ごとに守護大名を配置するようにした」など、「自治」の誤った使用や歴史事象とは関係のない解答がみられた。また、32(1)では、「主権」の意味を正確に捉えられていないことから、「国民主権」と解答するものも散見されるなど、用語を適切に活用できるまでの深い理解に課題がみられる。

歴史的な事柄や社会的事象を説明する際に必要な用語等をより深く正確に理解させるためには、分野の特質に応じた「見方・考え方」を働かせることが重要である。例えば、対象を比較して共通点や相違点（類似や差異など）を見いださせたり、事象同士を因果関係（背景・原因・結果・影響など）で関連付けたりする視点を示しながら学習を展開することが大切である。

- ☞② 資料から必要な情報を読み取り、既有知識と関連付けて表現する力を付けさせること。【64】

64では、問題の意図を正しく捉えておらず、資料から読み取った必要な情報を既有知識と関連させて表現することが十分でないことから、「休日が週1日しかないから」など、資料から分かることだけを書き出した解答が多く見られた。

問題の意図を正しく捉え、資料から必要な情報を読み取り、既有知識と関連付けて表現する力を育成するためには、まずは学習の視点を示し、何を問われているか課題（問い）の共有を十分に行うとともに、教科書等にある資料から必要な情報に気付き、その情報と既有知識を関連付けて考察する活動に加え、考察した内容を表現する活動を繰り返すことが大切である。

問 題			正 答				正答率		無答率	
1	1	(1)	フォッサマグナ				54.4		12.6	
		(2)	記号	イ	県庁所在地名	高松市	46.1		0.6	
	2	ウ				65.6		0.3		
	3	ア				55.6		0		
	4	(例) 15歳未満の人口の割合が低くなり、 65歳以上の人口の割合が高くなった。				47.3		2.0		
部分点 9.7										
2	1	ア				53.6		0		
	2	ウ → エ → ア → イ				14.9		0		
	3	(例) 守護大名に代わり、信者たちが自治 を行った。				12.0		17.2		
		部分点 0.3								
	4	ウ				78.5		0		
5	エ				49.9		0			
3	1	(1)	ア				45.6		0.6	
		(2)	エ				11.7		0.3	
	2	(1)	主権				24.9		7.2	
		(2)	イ				16.6		0	
	3	ウ				61.6		0.3		
4	1	記号	C	宗教の名称	ヒンドゥー教	記号	32.7	0		
						宗教	51.9	1.1		
	2	(例) 輸出額のほとんどを占める原油に経 済が依存しているから。				40.4		6.9		
	部分点 7.4									
	3	イ				77.9		0		
4	ウ				75.6		0.3			
5	1	陸奥宗光				35.0		15.8		
	2	(例) 日清戦争に比べ、日露戦争では多く の戦死者を出し、戦費が増え、税の負担も 大きくなったが、ロシアから賠償金が得 られなかったから。				37.6		7.7		
		部分点 18.9								
	3	エ				75.9		0		
	4	二十一か条の要求				39.0		18.6		
5	イ				78.2		2.0			
6	1	エ				41.3		0.3		
	2	ア, エ, カ				58.2		0.3		
	3	a	共助		b	公助		42.4		6.0
	4	1点目	(例) 男女で月給に差がある。				80.0		5.4	
		2点目	(例) 勤務時間が、週 40 時間を超 えている。				3.2		6.6	

※ 正答率等の数値については、学力検査受検者の中から 10 人に 1 人の割合で抽出した 349 人分の答案を
対象として算出した。